事業番号	09 04 24	事業改善シート(25年度実施事業分)	口予算要	求	口当初予算案	□補正予算案  ■点検	
事業名	凍結精液生産事業			ī	部局	農政部	
尹 未 乜				担当	課∙室	園芸畜産課	
総合5か年 計画	プロジェクト			課	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展	1-3 夢に挑戦する農業					
	旭界の総合的展	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		5	<b>実施期間</b>	S50 ~	

## 1 事業の概要

目指す姿	○県有種雄牛「栄寿」を中心とした優秀な精液を活用し、高品質で市場性の高い子牛生産や優秀な繁殖雌牛群の造成を図る。 ○こだわりの純粋豚や品質の高い三元交配豚を作出するために、希少価値のある純粋豚の維持と精液配布の拡大を図る。											
現状	○県有種雄牛「栄寿」は、平成24年度全国和牛能力共進会で、安定した成績を残した。 ○和牛4頭の精液を活用して信州産の肉用牛生産を進めるとともに、希少価値のある純粋豚の供給を進め畜産農家のニーズに応える。 ○精液等で新たな血統を入れながら、養豚農家が利用しやすい種豚を維持していく必要が増している。											
県が関与 する理由		県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 困難		【左記の説明、根拠法令等】 県が保有する種畜は知的財産として県が管理と精液採取、凍結調製、保管及び供給等を行う必要がある。								
	1	① 成果目標(H25)										
	○黒毛和種種雄牛4頭の飼養と精液生産 ○牛凍結精液2,800本の生産保管と供給 ○豚精液の生産と1,800本の供給											
	2	事業内容		(単位:千円)								
		項目	実施方法	出生 H25事業実績		25	H26					
		XII	) (ME) 3 11	1120 - 7,7,7,19	(当初)	(決算)	(当初)					
		・種畜の飼育と精液生産	直接	<ul><li>・種畜を飼養するための飼料、敷き料管理</li><li>・精液性状の確認と凍結精液の生産、保管、販売</li><li>・飼育舎の保守点検と衛生管理など</li></ul>	2,687	2,241	2,904					
事業内容		・液状精液等の管理供給	直接	・種畜を飼養するための飼料、敷き料管理 ・生産される精液性状の確認と液状精液の生産、販売 ・飼育舎の保守点検と衛生管理など	2,372	2,246	2,376					
				∧ ⇒1	E 0.E0	4 407	F 000					

	区	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
	-		前年度繰越				
	予算		当初予算	6,107	5,931	5,059	5,280
事	額		補正予算			-513	
業			合計(A)	6,107	5,931	4,546	5,280
			国庫支出金				
⊐	AØ		県 債				
_	財源	į	その他(財産収入)	6,107	5,931	4,546	5,280
ス			一般財源	0	0	0	0
١	決	算 額(B)		6,107	5,931	4,487	
	概	算	職員数(人)	5.55	5.55	5.55	
	人件		概算人件費 (C)	45,832	45,832	45,832	0
	概算事業費(B(A)+C)			51,939	51,763	50,319	5,280
			•	•	•	•	•

成果目標の達成状況								
項目	H24末		H26					
-24 1	(実績)	目標	成果 達成状況		目標			
和牛種畜の系統維持	6頭	4頭	4頭	達成	4頭			
牛凍結精液の供給	1,015本	2,800本	551本	未達成	2,800本			
豚液状精液の供給	1,451本	1,800本	1,700本	未達成	1,800本			

目標に対 する成果 の状況 ・牛凍結精液については、黒毛和種生産以外での利活用方法のPRが足りず、目標達成に至らなかった。

・豚液状精液は、純粋豚や高品質三元豚の生産を中心に供給を行い、前年実績を上回ることができたが、精液を利用する繁殖頭数が伸びず目標達成には至らなかった。

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業	
をどのよう	
にしていき	
4 1 1 4	

□ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施

・凍結精液の配布本数が減少してきていることから、農家等へ利用促進のPRを行うとともに、配布本数に応じた種雄牛の繋養頭数に見直す。

・凍結精液に代わる遺伝資源(受精卵)の供給体制等の構築について検討を進める。